

農林水産知財通信：第 13 号 農林水産研究の知財ネットワーク 2026 年 1 月 21 日

こんにちは！戦略的研究開発知財マネジメント強化事業事務局です。

新しい年が始まり、あっという間に1月も後半となりました。

寒い日が続いておりますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

## ㉙ テーマ：個別ネットワークの各テーマの活動状況③㉙

本事業では、今年度から公的研究機関同士の横断的な連携強化を目的に、4つのテーマで個別ネットワーク活動を支援しました。

各テーマの活動は最終回を迎える、参加者主体による活発な意見交換や事例共有が行われました。

参加者からは「他団体の取り組みや悩みを知ることができた」「連絡先の共有や横のつながりができ、相談や質問がしやすくなった」「弁護士の先生に具体的な質問対応をしてもらい理解が深まった」などの声が寄せられています。

今回のメルマガでは、個別ネットワークのこれまでの活動状況をご紹介するとともに、個別ネットワークの活動成果を皆様に共有する場となる、第2回農林水産研究における知財マネジメントセミナーの開催について、ご案内いたします。

## ●第2回農林水産研究における知財マネジメントセミナー

8月の第1回セミナーに引き続き、公的研究機関の知財実務に役立つ情報をお届けします。第2回セミナーのプログラム①では、海外から自組織の品種や技術を「使いたい」とオファーが届いた際、どこから検討を始め、何を決めるべきかについて、解説いただきます。プログラム②では、個別ネットワークの活動過程で関心・疑問が多く寄せられたポイントにフォーカスし、専門家の助言や参加機関の取組をご紹介します。日頃の疑問の解決や、他機関の取組を知る機会ですので、奮ってご参加ください。

### ＜開催概要＞

- ・開催日時：令和 8 年 2 月 12 日（木）13:00～15:00
  - ・実施方式：Zoom Webinar（オンラインセミナー）
  - ・対象：公的研究機関の職員の方をはじめとする農林水産研究の知財管理に携わる方
  - ・参加費：無料

- ・プログラム① 講演：海外展開の検討前に知財観点で留意すべきポイント  
弁護士・弁理士 早川 尚志 氏（さくら国際特許法律事務所）
- ・プログラム② 公的研究機関のお悩みサポート実例ダイジェスト
- ・開催概要：<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/event.html>
- ・申込用 Web サイト：<https://forms.office.com/e/yNRMrHFGnW>

## ●個別ネットワークの活動状況とセミナーでの報告予定内容

### (1)普及活動に係る知的財産の取扱い

- ・担当弁護士・弁理士：平井佑希先生
- ・現在の参加者数：13名、参加機関数：9機関
- ・第1回（10月20日）：ノウハウ共有と取組事例の紹介
- ・第2回（11月26日）：現場で実行性のある対応策の検討
- ・第3回（12月18日）：ライセンス契約に関するお悩み相談と事例共有
- ・第4回（1月20日）：実施許諾後の取扱いや現場対応

#### <セミナー報告内容>

平井先生からライセンス契約やノウハウ管理に関する実務的な運用について、特に普及活動における知財との接点について解説いただきます。また、佐賀県から普及活動における実務的な悩みや対応について共有いただきます。

### (2)知財部1年生向け勉強会

- ・担当弁護士：外村玲子先生、羽鳥貴広先生
- ・現在の参加者数：24名、参加機関数 20機関
- ・第1回（10月8日）：農業／農林水産に係る知的財産制度の概要
- ・第2回（11月17日）：種苗法基礎
- ・第3回（12月15日）：契約基礎
- ・第4回（1月15日）：商標基礎

#### <セミナー報告内容>

外村先生・羽鳥先生から、知財分野の中でも特に質問が多かった「種苗法」「契約」「商標」について、知財部1年目の担当者でも理解しやすいよう、ポイントを絞って解説いただきます。また、農研機構生研支援センターから、個別ネットワーク活動を通じて得られた知見や気づきを共有いただきます。

### (3)ひな形を見直す会

- ・担当弁護士：池田幸雄先生
- ・現在の参加者数：18名、参加機関数 12 機関
- ・第1回（10月15日）：契約書ひな形の確認ポイント  
その後、専門家の支援の下、各機関でひな形の見直しを実施
- ・第2回（1月16日）：ひな形見直し後の気づきや共通課題を共有

#### <セミナー報告内容>

池田先生から、契約書のひな形を見直す際のポイントについて、今回の個別ネットワーク活動の実体験をもとに整理していただきます。実際にひな形を見直した際、どのような観点で修正を行ったのか、また複数機関で共通して浮かび上がった重要なチェックポイントに絞って解説します。また、三重県から、実際にどのように契約書のひな形を見直したか、実務者にとっての意義を共有いただきます。

### (4)侵害対応

- ・担当弁護士：松本好史先生、大堀健太郎先生
- ・現在の参加者数：11名、参加機関数：7機関
- ・第1回（10月20日）：侵害対応のガイドラインに関する事例共有
- ・第2回（11月26日）：フリマサイトにおける権利侵害対応
- ・第3回（12月18日）：東京都等の他機関における侵害対応事例の紹介
- ・第4回（1月20日）：税関による水際取締り

#### <セミナー報告内容>

松本先生・大堀先生から、公的研究機関が育成者権など知的財産権の侵害に直面した際に、どのようなポイントに留意して対応すべきかをダイジェストでご報告します。

また、東京都から、実務者として実際に知的財産権侵害に対応した事例や、現場で直面した課題についてご紹介いただくとともに、和歌山県から、本活動を通じて得られた知見や気づきを共有していただきます。

#### <次回の配信予定>

テーマ：知財事件簿・仮想相談事例 #3

配信時期：2月10日頃

#### <メルマガのバックナンバー>

下記HPよりこれまで配信された全てのメルマガをご覧いただけます。  
ぜひ、気になる情報をチェックしてください。

URL : <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/mailmagazine.html>

※メールマガジン記事の無断複製、無断転載を禁じます。